

平成30年度学校評価

本年度の重点目標	「知的冒険心」をもった学習活動と「多様な体験」を通して、生徒が良識ある社会人として成長することを導く。また、本校の魅力について、「情報発信」を積極的に行う。			
分掌	重点目標	具体的方策	評価結果と課題	
1	総務	学校行事およびPTA行事を円滑に進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施要項や保護者向け案内文書を、簡単に明瞭な文面で作成する。</li> <li>早期に職員の役割分担を具体的に示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各行事の実施要項の役割分担を明確にすることができた。</li> <li>行事が終わった後、職員反省アンケートを実施し、次年度に向けた改善を積極的に進めた。</li> </ul>
		印刷物を工夫して、本校の魅力を学校内外にアピールする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校案内」「つうしんKozoji」「蔵高ニュース」「くら高」などの刊行物について、企画案を早めに検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の協力を得て、記録写真を計画的に収集することができた。</li> <li>行事の魅力が伝わる記録写真の収集が、非常に難しかった。</li> </ul>
	進路指導	進路についての視野を広げ、主体的に考える姿勢を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路講演会、大学出張講義等進路関連行事の充実を図る。</li> <li>創蔵の時間を利用して、進路意識の高揚を図る。</li> <li>進路だよりを通して進路関連情報を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業生による進路講演会、大学出張講義等を行い、生徒の進路意識を刺激し、進路についての視野を広げることができた。</li> </ul>
		進路室の整備と資料の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科や学年会と連携を強くすることで資料の充実を図る。</li> <li>生徒の利用促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤本を始め問題集等を購入することによって、資料が充実し、生徒の利用も活発であった。</li> </ul>
	新入試制度への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入試制度に関する情報を収集する。</li> <li>研究会などに適宜参加する。</li> <li>学校としての対応を研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入試制度に関する情報収集を行ってきたが、学校全体としての対応まで至らなかった。</li> </ul>	
2	教務	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が理解し、積極的に学ぶ姿勢を身に付ける授業を行う。</li> <li>朝学習、基礎力テストに生徒たちそれぞれの目標を持って取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科主任会などの機会を通して、教科間の情報交換、情報共有を行いながら授業改善に努めることができた。</li> <li>朝学、基礎力テストを毎週実施することを通して、生徒たちの学習意欲を高め、基礎力の定着を図ることができた。</li> </ul>
		国際教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリア研修をはじめとする国際交流事業を企画し、多くの生徒が参加するように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリア研修の報告会、報告冊子の作成、事前事後研修の実施、海外チャレンジへの応募などを実施することで、多くの生徒たちの国際交流に対する意識を高めることができた。</li> </ul>
		情報化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の情報機器や放送機器について管理を行う。</li> <li>ネットワークについて保守、管理を行い、校務が円滑に進むようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の情報機器や放送機器について、管理・整備を行うことができた。</li> <li>ネットワークについては校務が円滑に進むように引き続き整備を行ってきたい。</li> </ul>
	図書	図書館を、知的冒険心をかきたてる「文化の拠点」にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の文化的作品を収集し、管理し、展示する。</li> <li>道樹展の作品を、生徒・卒業生・保護者・職員等から広く募集するとともに、積極的に広報し、来場者を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内文を保護者に配付したり、本校のホームページに掲載したりして広報を行った。参加者は「生徒・保護者・職員の文化的な交流の場」としての意義を感じる事ができた。今後は、より多くの方の参加を促す方策について検討していきたい。</li> </ul>
図書委員会による情報の発信を進め、図書館の利用者を増やす。		<ul style="list-style-type: none"> <li>「図書館だより」の発行、「特設コーナー」の設置、ポスターの作成等、図書委員会による情報の発信を進め、図書館の活動を広く知らせ、利用を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「図書館だより」を11回発行し、生徒が推薦する本等について紹介した。また、生徒が「特設コーナー」を設置したり、ポスターを作ったりして情報を発信した。図書館の利用者をさらに増やすための方策について検討していきたい。</li> </ul>	
3	特別活動	学校行事が生徒に意義あるものとなるよう内容の質を高める。生徒が主体的に、協力して取り組む姿勢を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会や委員会の活動を促し、生徒が自主的、かつ協力的に取り組むことができるような環境を整える。各行事要項をわかりやすく明確にしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事に関して、内容や時間の精選を行う中で、前日祭を行うことができた。また、生徒会企画としての有志発表等、準備から当日まで生徒が行動しやすい環境を作ることができた。</li> </ul>
		学校内外への情報発信を進め、各行事の様子、部活動結果の報告を活性化させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP、生徒会だよりの活用及び整備をする。</li> <li>生徒会執行部を中心に、情報機器を使用して発信を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校HP上の部活動を中心に更新を行うことができた。しかし、生徒会執行部が主体的に発信を行えるような整備には至らなかった。</li> <li>情報機器を使用して文化祭でのゴミ削減ポスター等を生徒主体で作成することができた。</li> </ul>
	保健	生徒・職員の身体的健康度及び精神的・社会的健康度の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の連携を密にし、協力して対応できる組織・環境をつくる。</li> <li>スクールカウンセラーの活用、学年相談係の活動により生徒相談の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の状況把握について、学年会や学年主任会を通して、情報の共有を行なうことができた。</li> <li>保健だより、元気ルームだより共に定期的に発行し、情報発信や啓発活動などを行った。</li> </ul>
学校や身近な公共の場を、自ら清潔・快適にできる人間の育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境美化とあわせてゴミの分別の徹底を図り、ゴミ減量に努める。</li> <li>トイレを中心に清掃の徹底を図る。</li> <li>美化委員会の活動をより充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃活動は引き続き生徒、職員の協力体制を維持して行ってきたい。</li> <li>清掃道具等の要望にはできる限り早く対応するように努めた。</li> <li>美化委員の活用を少しずつ進めており、来年度に引き継いでいきたい。</li> </ul>	
生徒指導	明るく落ち着いた学校環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から教室の移動時に、職員による巡回を行ったり、生徒への声かけを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ロッカーの施錠状況を定期的に確認しながら貴重品の自己管理の徹底を図った。</li> <li>所持品の自己管理を継続的に指導し、紛失防止の意識の向上を図った。</li> </ul>	
	交通安全の励行	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時に校門に立つなどし、注意喚起を行う。</li> <li>ST、LTや全校集会等で、呼びかけを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車利用者への注意を継続的に行い、事故防止の意識を高める用努めた。</li> <li>危険箇所や苦情箇所のハザードマップを作成して生徒に情報を伝えながら意識の向上を図った。</li> </ul>	
	場面に応じた粘り強い生徒指導による、基本的な生活習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな場面にふさわしい行動・態度を考えさせるとともに、公私のけじめをつけ、公共の場にふさわしい身だしなみや言動を身に付けさせる。</li> <li>情報モラルを遵守させ、個人情報の管理に対する意識を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の共通理解を図り、協力体制を整え、日常の場で継続して身だしなみ指導を根気よく続けていく。</li> <li>日常社会のモラルについて、普段よりいろいろな場で伝えていくことで意識の向上を図る。</li> </ul>	
	いじめの未然防止への取り組み、および早期発見と適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権講話等の場面で、他人の気持ちを思いやる心を育てる。</li> <li>学校生活の中で、挨拶などこまめに声かけをしたり、生徒の様子を観察・把握したりすることにより、生徒ひとりひとりの変化に速やかに気づくようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も学年主任者会において、生徒の情報を共有し、個々に対応すると共に、必要に応じて全職員に伝え情報を共有する。</li> <li>授業、登下校などさまざまな場面において、生徒をよく観察しいじめなどを未然に予防をする。</li> </ul>	
学校関係者評価を実施する主な評価項目	重点目標の達成度、学習指導と家庭生活の充実、国際教育への取り組み、交通安全や身だしなみ指導への取り組み、進路実現に向けた情報提供や行事への取り組み、教育相談体制、校内美化活動、学校行事や部活動指導への取り組み、いじめ防止への取り組み、業務の適正化と教職員の健康障害防止に向けた取り組み			